

平成 27 年 12 月 9 日  
内閣府（防災担当）

## 「IRP 国際復興フォーラム 2016」の開催について

被災地の復興過程において、次の災害に備えたより強靱な社会を構築する「よりよい復興」の実現を目指して、我が国や関係国連機関等の連携により国際復興支援プラットフォーム（IRP: International Recovery Platform）が、2005 年の国連世界防災会議の成果の一つとして、同年に発足しました。

IRP では、関係機関の協力の下、復興優良事例などの情報提供、地域復興の助言、能力開発などの活動を行っており、この「IRP 国際復興フォーラム」も、これらの活動の一環として、発足以来毎年開催しているものです。

今回のフォーラムは、世界各地の巨大災害からの復興について、アジア・アメリカ等の災害多発国の政府高官等による講演、国連等国際機関によるプレゼンテーションやパネルディスカッションを通じて、災害からの「Build Back Better」を実現する方策について討議を行うとともに、2015 年 3 月に仙台で開催された「第 3 回国連防災世界会議」後の発信を行います。

- 1 日時 平成 28 年 1 月 26 日（火）9:45～17:30
  - 2 場所 兵庫県神戸市中央区波止場町 2-1（ホテルオークラ神戸「平安の間」）
  - 3 主催 日本政府（内閣府）、IRP、兵庫県、アジア防災センター、国連国際防災戦略事務局（UNISDR）
  - 4 参加者 各国政府、地方自治体、IRP 関係者 等
  - 5 会議概要
    - ・基調講演：「ハリケーンカトリーナから 10 年 ～米国における復興の取組」（エリザベス・ジンマーマン 米国連邦緊急事態管理庁（FEMA）副長官）  
「フィリピンにおける災害対応と復興」（アレキサンダー・パマ フィリピン政府 市民防衛局（OCD）局長）  
ファシリテーター：小山淑子 国際労働機関（ILO）危機対応専門官
    - ・プレゼンテーション：「災害に強いまちづくり」  
「大規模災害における Build Back Better」
    - ・パネルディスカッション：「被災各国における災害復興と教訓 ～IRP パートナーからの発信」
- ※ 当フォーラムに併せて、翌 27 日（水）9:30～14:00 に、IRP サイドイベント（ILO 主催）を同ホテル内にて開催します。

## 6 取材について

現地での取材を希望される場合は、事前に IRP 事務局担当者まで御連絡ください。TV カメラの撮影位置等についても IRP 事務局の指示に従ってください。

＜お問い合わせ＞

- 現地での取材、英語インタビュー及びフォーラム内容に関すること  
IRP（International Recovery Platform・国際復興支援プラットフォーム）事務局  
河内、松浦 TEL:078-262-6041 E-mail: [info@recoveryplatform.org](mailto:info@recoveryplatform.org)
- その他全般に関すること  
内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（普及啓発・連携担当）付  
小池、武宮 TEL 03-3502-6983 FAX 03-3581-7510



# 「IRP 国際復興フォーラム 2016」

～世界各地から防災の英知が兵庫に集結、大規模災害からの復興を語る～

## IRP'S INTERNATIONAL RECOVERY FORUM 2016

～ *Sending the Message of Build Back Better  
from Hyogo, Japan* ～

日時：2016年1月26日（火）9:45～17:30

場所：ホテルオークラ神戸「平安の間」



### 開催趣旨

国際復興支援プラットフォーム（IRP: International Recovery Platform）は、大規模災害からの「Build Back Better」を促進するための国際的な協力の枠組として、2005年5月の設立以来、国連機関等と連携しつつ、日本政府、兵庫県の支援のもと、復興支援ツールの開発や人材育成事業の実施、知識の集約と情報発信を行っています。

この活動の一環として、IRPでは、毎年1月、国内外からハイレベル政策決定者や実務家、著名な専門家を兵庫県に招いて、「IRP 国際復興フォーラム」を開催。毎回多くの出席者による活発な意見交換を通じて、阪神・淡路大震災の被災地である兵庫県から海外へ大きく発信し続けているところです。

今回のフォーラムは、世界各地の巨大災害からの復興について、アジアなど災害多発国の政府高官等による講演、国連等国际機関によるプレゼンテーションやパネルディスカッションを通じて、災害からの「Build Back Better」を実現する方策について討議を行うとともに、2015年3月に仙台で開催した「第3回国連防災世界会議」後の発信を行います。

### 主催

国際復興支援プラットフォーム (IRP)、  
内閣府、兵庫県、アジア防災センター、  
国連国際防災戦略事務局 (UNISDR)

### 後援（予定）

外務省、NHK神戸放送局

### 使用言語

日本語・英語（日英同時通訳有り）

### 申込方法

裏面の申込用紙に必要事項を記入し、事務局あて  
FAX 又は郵送にてお送りください。

参加費 無料

# プログラム (予定)

## 9:45~10:10 開会あいさつ

ステファン・コーラー IRP 運営委員会議長 (国連プロジェクト・サービス機関(UNOPS) 防災局長)  
 日本政府代表 (内閣府)  
 井戸敏三 兵庫県知事

## 10:10~11:40 基調講演・特別報告

- (1) 「ハリケーンカトリーナから 10 年 ~ 米国における復興の取組 ~」  
 エリザベス・ジンマーマン アメリカ合衆国連邦緊急事態管理庁(FEMA) 副長官
  - (2) 「フィリピンにおける災害対応と復興 ~ 日本ならびに兵庫県との協力関係に向けて」  
 アレクサンダー・パマ フィリピン国防省市民防衛局 局長
- ファシリテーター: 小山淑子 国際労働機関(ILO) 危機対応専門官

## 13:30~15:20 災害復興に係るテーマ別プレゼンテーション

国連等国際機関によるプレゼンテーション  
 (テーマ候補)「災害に強いまちづくり」、「大規模災害における Build Back Better」

## 15:40~17:20 専門家・有識者によるパネルディスカッション

「各被災地域における災害復興と教訓 ~ IRP パートナーからの発信」

## 17:20~17:30 総括・閉会

日本政府代表 (内閣府)

### IRP フォーラム会場

### ホテルオークラ神戸「平安の間」

〒650-8560 神戸市中央区波止場町 2-1  
 Tel 078-333-0111 Fax 078-333-6673  
 URL [www.kobe.hotelokura.co.jp](http://www.kobe.hotelokura.co.jp)

◎JR・阪神「元町」駅東口より南へ徒歩 10 分  
 又は

◎三宮バスターミナル (ミト神戸 1F) 8 番より徒歩行き  
 無料シャトルバス有り (8:30、8:50 発。先着定員制)



## 「IRP 国際復興フォーラム 2016」申込用紙 (FAX 078-262-6046)

所属 (組織名、学校名)	
フリガナ	
お名前	
住所・電話番号	〒  Tel
E-mail	

※ ご記入後、下記までFAX、郵送によりお申込みいただくか、Eメールにてご連絡ください。  
 ※ 個人情報は、IRPフォーラム以外には使用しません。

